

3/14 交通安全指導員片寄さん  
北海道善行賞受賞

長年交通安全指導員として活動された、片寄繁之さんが北海道善行賞(交通安全実践者)を受賞し、竹中町長から伝達されました。

片寄さんは平成18年から15年以上交通指導活動に従事され、現在も通学路での子どもたちの見守り活動などを行っていただいています。

片寄さんは「あっという間の15年だった。子どもたちの安全のため、ボランティアの精神でやってきた」とお話しいただきました。



3/22 オンラインで海外の高校生と  
上中3年生海外交流

アメリカカリフォルニア州サンタマリア高校の生徒と上士幌中学校3年生が、オンラインで交流を行いました。

当日は11名の生徒が生涯学習センターわかで1人1台のPCを使用し、オンラインで海外の高校生と英語を使って交流しました。参加した中学生は「外国の人とコミュニケーションを図るのは大変だったが、とても勉強になった。今後も英語を勉強して、さまざまな場面で活かせるようにしたい」と感想を話しました。

3/28 上士幌町建設業協会  
クリアファイル寄贈

上士幌町建設業協会様が子どもたちの健やかな育ちと学校教育の推進のため、この春小学校へ入学する新1年生へクリアファイルを寄贈しました。

建設業協会宮内総務部長と小寺事務局長が教育委員会を訪れ、教育長へクリアファイルを手渡しました。

宮内総務部長は「学校からの配布物を家庭へつなぐ役割として活用してほしい」とお話しいただき、教育長は「家庭と学校をつなぐ配布物を入れるクリアファイルはとてもありがたい」と感謝の言葉を述べました。



3/28 上士幌町商工会女性部  
交通安全のお守り寄贈

上士幌町商工会女性部様が子どもたちの交通事故防止を祈願し、この春小学校へ入学する新1年生へお守りを寄贈しました。

商工会女性部小寺副部長が教育委員会を訪れ、教育長へお守りを手渡しました。

商工会女性部の部員でお守り44個を手作りし、小寺副部長からは「児童が登下校する際、ドライバーや町民の方がお守りを見て、安全運転を意識してもらえれば」とお話しいただきました。

入園式・入学式特集

▶認定こども園入園式/4月7日(木)



▶上士幌小学校入学式/4月8日(金)



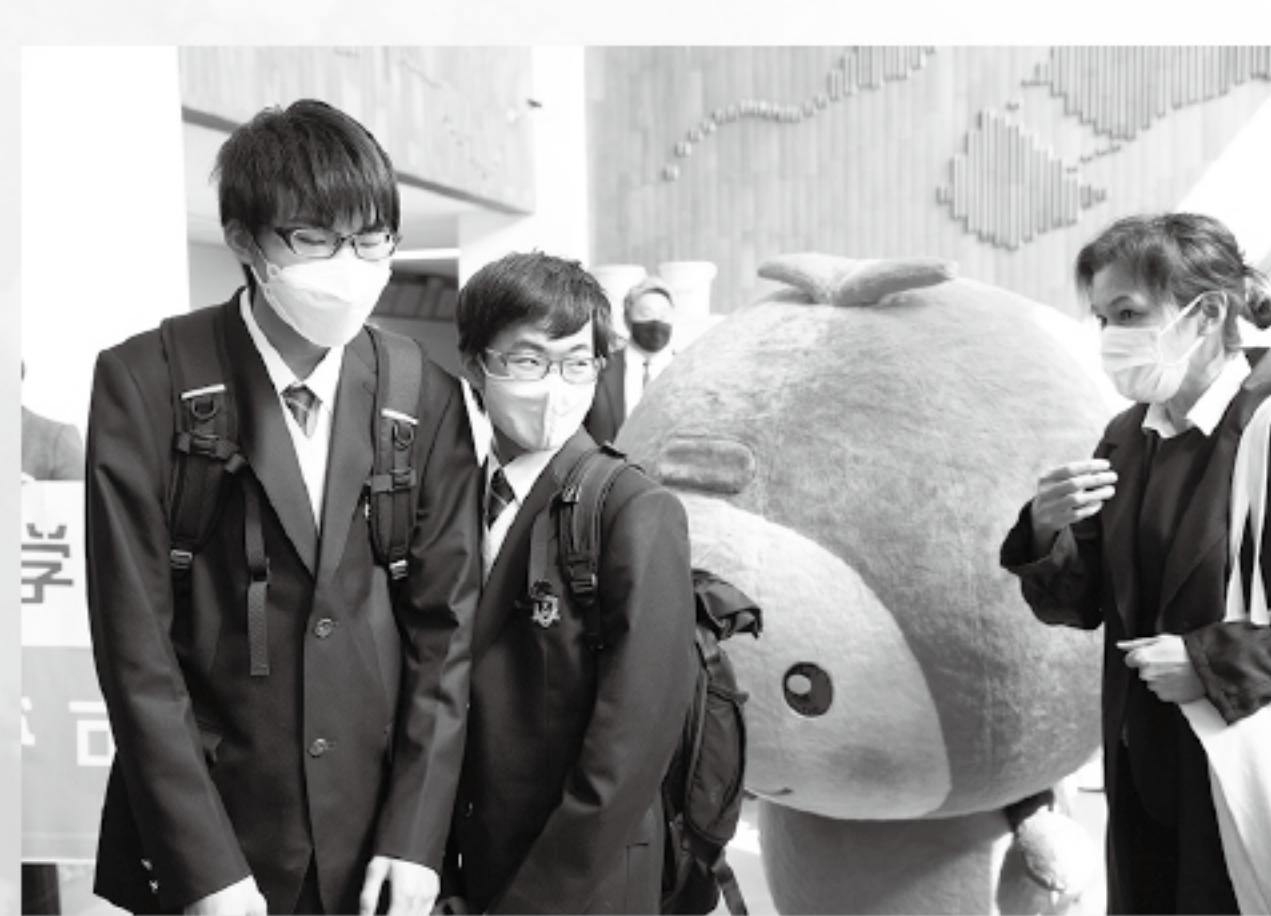
▶学童保育所入所式/4月8日(金)



▶上士幌中学校入学式/4月8日(金)



▶上士幌高等学校入学式/4月8日(金)



3・4月の  
まちのわだい

3/13 上士幌高校熱気球部門馬さん  
熱気球パイロット免許取得

上士幌高校3年生の門馬博斗さんが熱気球のパイロット免許を取得し、13日にフライトを行いました。

門馬さんは2020年12月からトレーニングを始め、今年2月に行われた実技試験と筆記試験をクリアし、見事パイロット免許を取得しました。

門馬さんは「見ていると簡単そうに思えたが、実際に操縦してみるととても難しく、特に気球の高度を一定に保つ操作がとても大変だった。取得出来てほっとしている」とお話しいただきました。



## 企業版ふるさと納税を活用した 公用車を購入しました

昨年3月にサンフラワー株式会社(東京都)様から、企業版ふるさと納税としていただいた寄付金(500万円)で購入した三菱アウトランダーPHEVの納車式が3月29日に行われました。

竹中町長は「今回いただいたご寄付で購入した車両は、今後必要となってくる脱炭素の視点、防災の視点が備わっている車両。PHEV車両の導入は脱炭素の取り組みの後押しとなる。心から感謝したい」と話しました。オンラインで出席されたサンフラワー株式会社営業部取締役山本様は「環境に有利であり、災害時などに電源供給が可能な車両。上土幌町で活躍できることを祈っている」とお話しいただきました。

サンフラワー株式会社様からは、令和4年3月4日にも企業版ふるさと納税として300万円を寄付いただいています。



## 地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 幼児教育支援コーディネーターとしてのお仕事

記: 幼児教育支援推進員 伊藤 あかり

12月から幼児教育支援コーディネーターとしてこども園で勤務をしております伊藤あかりと申します。

私が上土幌町と出会ったのはMYMICHYプロジェクトという1か月滞在型のプログラムです。たくさんの町民の方に出会いたくさんの価値観や自然に触れ、すっかり上土幌町のファンになった1か月でした。

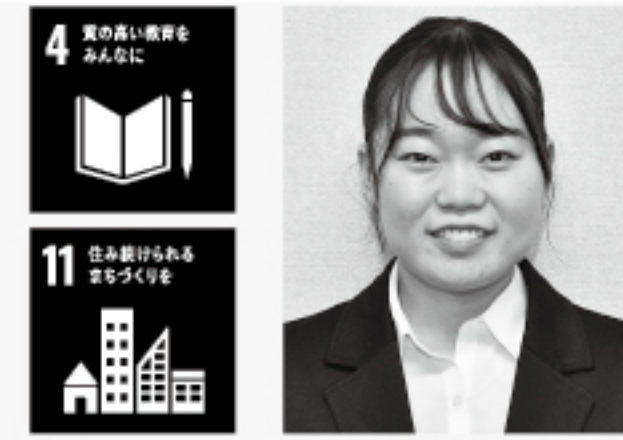
1年前の頃はまさか移住して大好きな子どもたちと仕事が出来ているなんて夢にも思いませんでした。上土幌町で温かく受け入れてくれ、見守ってくださった皆様のおかげで自分がやりたいことにまっすぐ飛び込むことができ、可愛い子どもたち約170名に囲まれて日々幸せを感じながら仕事をすることができています。

幼児教育支援コーディネーターと聞いて「結局何をしているの?」と思う方もたくさんいらっしゃると思います。私も求人を見た時そう思いました。



話が長くなってしまいそうなので、一部だけ紹介させていただくと、地域の皆様と子どもたちに繋がりを持っていただくような活動、小学校との連携、国際交流(写真2枚目:アメリカ出身のメイ先生の妹さんが教師をされている学校とzoomで繋ぎ交流をしている様子)、遊びを通した身体作りプログラム等の業務を行っています。これからたくさん地域の皆様に子どもたちの成長を見てもらえるような機会作りをしていきたいとワクワクしておりますのでご協力をよろしくお願い致します!

もし街中で見かけたら「あかりん!」と声を掛けてくださいね!



## 新しい体制になりました 上土幌消防団辞令交付式

片寄前消防団長が3月31日付けで任期が満了し、退団されたことに伴い、新しい消防団長の辞令交付式が4月1日に開催されました。

菅原研さんが団長に、佐藤佳邦さんが副団長に任命され、新たな体制での消防団がスタートしました。

菅原さんは「近年は災害が多く、消防団の活動がますます重要となっている。団の活動を活発化し、地域を大事にしていきたい。」とお話しいただきました。

## ふるさと納税を活用し スクールバスが新しくなります

全国の皆さまからいただいたふるさと納税を財源とした「上土幌町ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金」を活用し、新たにスクールバスを購入しました。

今回の更新にあたり、新しいバスのデザインコンテストを開催し、昨年9月から10月にかけて募集を行ったところ、43作品の応募がありました。3月14日にデザインコンテストの表彰が行われ、特選に上中1年生の橘さん、入選に上中3年生の細川さん、上小2年生の小椋さんの作品が選ばれました。今回特選に選ばれた橘さんの作品はスクールバスのデザインに採用されました。



3月30日には交通ターミナルでスクールバス納車セレモニーが行われ、町長や受賞者の橘さんなどが試乗しました。

竹中町長は「全国の皆さまからのふるさと納税寄付金を活用させていただいた。スクールバスは安全に通学するためにはとても重要。また、SDGsの考え方や町の良さが詰まった素晴らしいデザイン。この思いを子どもたちに伝えていきたい」と話しました。橘さんは「タウシュベツ川橋梁やほろんちゃんなど上土幌町とわかるものや、SDGsについての文字も入れた。多くの人に上土幌町の良さなどを知ってもらえれば、自分のデザインしたバスが実際に走っているところを見ると、とてもうれしい」とお話しいただきました。



若者×多様性×ジェンダー平等

# 上士幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## プロジェクトチーム活動報告

3月29日、現メンバーでの最終回となるプロジェクトチームを開催しました。今回の会議では、これまで行ってきた議論を振り返り、参加メンバー全員から意見や感想を伺った後、上士幌町を舞台としたオリジナルSDGsボードゲームの完成披露を行いました。

次年度からは、出前授業などの普及啓発活動を継続していくとともに、脱炭素に向けて、新たに「ゼロカーボンプロジェクトチーム」を設置し、活動していく予定としています。



## SDGs出前授業 自分たちにできることを発表しました

さまざまな課題を自分ごととして考え、自らが率先してSDGsの達成に向けて行動できるよう、SDGs出前授業を開催しています。

3月16日の授業では、町内の再生可能エネルギーの仕組みを学ぶため、有限会社ドリームヒルさんにご協力いただき、バイオガスプラント施設や余剰熱を活用した果物のハウス栽培、牛の搾乳施設などを見学させていただきました。

また、3月18日には、今年度最後となる小学校での出前授業を行い、児童一人ひとりがこれから実践していくSDGsの取り組みを決めて、自分が考えたアクションの内容を発表してもらいました。



## 役場の新人紹介 よろしくお願ひします！

- ①氏名(年齢)
- ②担当課
- ③出身地



- ①高畑 志帆 (29歳)
- ②企画財政課
- ③福島県猪苗代町

憧れの十勝に移住して4年目、魅力あふれる上士幌町で働けることとなり感無量です。よりよいまちづくりのため、一日でも早く力になれるよう日々精進して参ります。



- ①近藤 優斗 (23歳)
- ②建設課
- ③帯広市

上士幌町は、先進的な技術も積極的に取り入れています。私も常に自分をアップデートし、皆様のより良い暮らしに貢献できるよう努力していきます。



- ①石川 和 (21歳)
- ②幼児教育課
- ③足寄町

上士幌町で働けることにとってもワクワクしています。子どもたちが毎日楽しく笑顔で過ごせるよう、一生懸命頑張ります。これからよろしくお願ひいたします。



- ①菊地 充一 (46歳)
- ②デジタル推進課
- ③小樽市

デジタル化が進む中で誰もが活用できるような環境づくり、さらに元気な町となるようなICT技術を活用した仕組み作りなど、町づくりに尽力します。



- ①吉本 徹 (61歳)
- ②教育推進課
- ③芽室町

上士幌町の皆様の信頼と子どもたちの健やかな成長を願って、精一杯取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



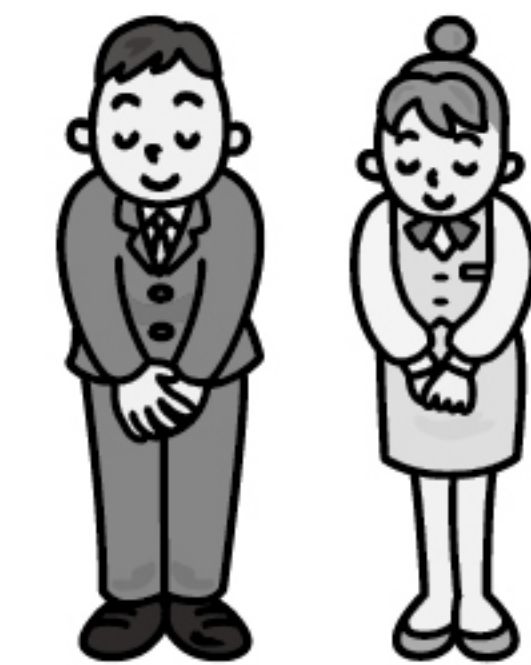
- ①横山 利幸 (60歳)
- ②幼児教育課
- ③上士幌町

上士幌町の未来を担っていく子どもたちのために、「チームほろん」で取り組んでいきます。笑顔をつなぎ、喜びの輪を広げていくよう努めていきます。



- ①高木 淳一 (42歳)
- ②商工観光課(地域おこし協力隊)
- ③千葉県香取市

4月より地域おこし協力隊として着任した高木と申します。早く町の一員となれるよう一日でも早く地域に溶け込み活動していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



今年度は、新たに6人の職員、1名の協力隊が役場に入りました。信頼される職員となれるよう一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

短歌

札幌の猫よ太つてまる々と露地を忙げり今朝のテレビにかへりみることも無くなり平凡に午後の日射しを浴びて居りたり平和へと一歩踏みだそうオリバラの折に第九の歌のひびけり世の中の暗い部分は見たくない平和な世界永遠に祈ろう福寿草雪解け芝生に咲き誇る春が来たかと嬉しくなりぬまだ上の乾かぬ庭に福寿草咲くを見つけて足を止めたり福寿草の可愛い花を見つたり歩みゆっくり庭を横切るわが母校上音更小学校閉校となり淋しくおもふ痛む腰かばいつつ今日も清掃の仕事つづける春めく午後に仰ぎ見るナイタイ山のレストランのオーブンするを楽しみにする雪どけの川のせせらぎ鳥の声ドキドキ楽しみ新しい旅人並みの幸を望むが資金なし甲斐性無し手に職も無し買物の帰りの街中道の辺にふと見付けた路の臺一つ広報の短歌を見たと区長さん元気かいと声かけくるる花曇る空を帰る白鳥よ伝へておくれ戦を止めてと

令和4年 3 月末現在の人口

男性	2,426人(+5人)
女性	2,517人(+4人)
人口	4,943人(+9人)
世帯数	2,607世帯(+20世帯)

令和 3 年度 ふるさと納税寄付金

3 月分	1,854 件 29,391,000 円
累計	94,959 件 1,498,207,000 円

※上記の累計金額は、3月末現在で町に入金された額です。令和3年度の寄付総額は、確定次第改めてお知らせします。

寄付 (4/14まで)

⇒ 3月17日、国際ソロプチストおとふけ様が、福祉の振興のため3万円を寄付されました。



⇒ 4月4日、須藤智慧子様が、町の振興のため10万円を寄付されました。

石瀬 米堀 鈴中 高松 高米 中尾 本  
川戸 森籠 木村 木田 橋森 濱野 間  
裕洋 博錦 仁誠 理博 真夏 よし 栗  
子明 樹介 れ豊 志也 恵明 弓希 乃 風



本年度から広報担当は1名となりましたので、編集後記も一人分となります。以前から何を書いたら良いものか頭を抱えていたところですが、一気に2倍のスペースを得たのです。これにはさ

がのTも苦しい。この際なので、広報担当で撮った写真を載せてみましょう。…T



広報 かがみしほろ 6月号は 5月25日(水) 発行 予定

令和4年度「上高たより」  
上士幌高校です!

No. 49  
令和4年  
4月25日

文責：教頭

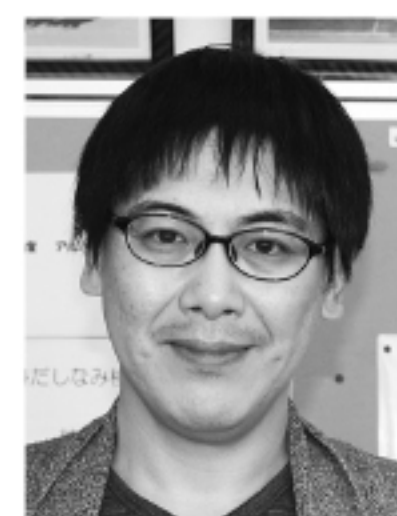
TITLE:本年度、本校に着任した4名の教職員を紹介します



名前：沼澤 圭亮  
前任校：本別高校  
職種：教頭(体育)



名前：香川 喜義  
前任校：帯広三条高校  
職種：教諭(英語)



名前：畑山 行平  
前任校：江差高校  
職種：教諭(国語)



名前：高沼 恭子  
前任校：帯広市教委  
職種：専門主任主事(事務)

● 沼澤教頭は釧路育ちで、ご自身の専門はアイスホッケーだそうです。香川教諭は英語とともにテニスの指導歴が豊富な先生です。また畑山教諭は上代の日本文学に造詣が深く、いつも万葉集を手元に置いています。そして事務の高沼さんは図書館司書の資格もお持ちの多才な方です。これからも「地域に貢献できる人材育成(スクールミッションより)」を旨に進んでいきます。



54名の1年生が入学しました

文責 山形 剛(顧問)

4月8日に新2・3年生が登校し、新年度が始まりました。2年生はクラス替えがあり、新しい顔ぶれに戸惑いも見られましたが、3年生はもうすっかり大人びた顔つきになり、それぞれに卒業後の行く末を見つめる余裕も見受けられました。

午後からは入学式が行われ、54名の1年生が本校の門をくぐりました。生徒玄関では振興会の計らいで「ほろんちゃん」の出迎えがあり、保護者の方々や今年着任した教職員を驚かせていました。11日には対面式や部活動紹介があり、新入生の高校生活が始まりました。

全校生徒148名の小さな学校ですが「大きな挑戦」に向けた1年にどうぞご支援のほどをお願いいたします。



△吹奏楽部の3年生女子が式の準備作業中



△新入生の宣誓をする藤内(ふじうち)君



△HRで今後の説明をするB組担任の木村先生